

# ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

企画展

## ナニコレ!?

## ねりまコレクション

—収蔵品のなぞを解明しよう—



2枚の羽でおおぎます。



木の棒には番号が記されています。



ドーナツ状のガラス瓶です。

「何に使われたのでしょうか？」



全長1mもあります！

令和6(2024)年

(資料名は裏面にあります。)  
(何に使われたかは会場で。)

観覧無料

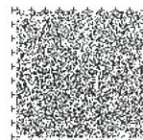
# 1月20日(土)～3月17日(日)



練馬区立 石神井公園

### ふるさと文化館

NERIMA SHAKUJIIKOEN FURUSATO MUSEUM



# 企画展 「ナニコレ!? ねりまコレクション—收藏品のなぞを解明しよう—」

会 期: 令和6年1月20日(土)~3月17日(日)

会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室

観覧料: 無料

当館では、練馬区域の歴史や文化を特徴づける資料を収集しており、その多くは区民の方々からの寄贈によるものです。收藏品は、練馬区指定・登録文化財になっている資料とともに、出土品・民具資料・文書資料・アニメ産業に関わる資料など、様々な分野の資料があります。

本展では、一見何に使われたかわからないものや、今は見かけないけれども生活に欠かせなかったもの、意外な見どころがあるものなど、多様な收藏品を一堂に会して展示します。

展示品の「なぞ解き」をしながら、「ねりまコレクション」を楽しんでいただければ幸いです。

この大根は何大根?



小林清親画  
「武蔵百景之内 道灌山」  
明治17(1884)年

## 関連イベント

### 講演会「文化の蔵としての博物館」

講師 浜田 弘明(桜美林大学教授)

日時 令和6年2月24日(土) 14時~15時30分

定員 90名(抽選)

参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

### 展示解説会

日時 令和6年2月4日(日)、3月13日(水)  
各回14時~(30分程度)

参加費 無料

会場 企画展示室(直接会場にお集まりください)

※このほか、キーワード探しなどを開催します。詳しくは、本展チラシ、当館ホームページをご覧ください。

表紙の資料名(右上から時計回り): 水鉄砲、頼母子講のくじ、あおりうちわ、ハエとりピン

## 展示資料紹介 大八車 (練馬区指定文化財)

大八車は、人力で重量物を運ぶ運搬具です。名前の由来は、八人力に代わる仕事量のため、「代八」と呼んだのが転じたという説や、大八車の発明者が高輪牛町の牛車大工の八左衛門だったことに由来するという説などがあります。大八車は、寛文年間(1661~73)頃に登場しましたが、江戸などの都市での使用が中心で、農村では馬の背や天秤棒に載せて運んでいました。江戸の近郊農村で車両が導入されるのは幕末になってからです。

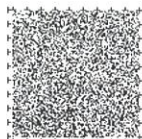
明治政府は、明治8(1875)年に「車税規則」を交付し、車両を乗用と荷積用とに分類して課税しました。荷積車は、荷台の大きさに大八車・大七車・中車・小車と分類し、さらに、農具や肥料を家から畑まで運搬するなど家用に使用する車は、農車として免税の扱いにしました。

写真の大八車は、車軸も含めほとんどが木製であることから、江戸時代後期の製作と考えられます。全長279cm、御所車型の車輪で、径は126cmあります。現在の大泉町4丁目の農家で使用されていたもので、車台の左側には、税金を納めたことを証明する検査印「免許入間県」の焼印があります。「入間県」の検査印があることから、明治4(1871)年から明治6(1873)年までの期間に捺されたものと推定されます。明治7(1874)年から明治11(1878)年頃の下土支田村の明細書上帳(小島家文書・練馬区指定文化財)には、村内の戸数113軒・人口698人に対し、小車が41輛あったことが記されており、近郊農村でも車両が普及していたことがわかります。

大八車などの荷積車両は、東京のまちへ野菜や練馬大根のたくあん漬けなどを出荷するために使われ、出荷の際に、蓋つきの肥桶と一緒に載せて、帰りに畑の肥料とする下肥を積んで帰りました。



大八車(練馬区指定文化財)

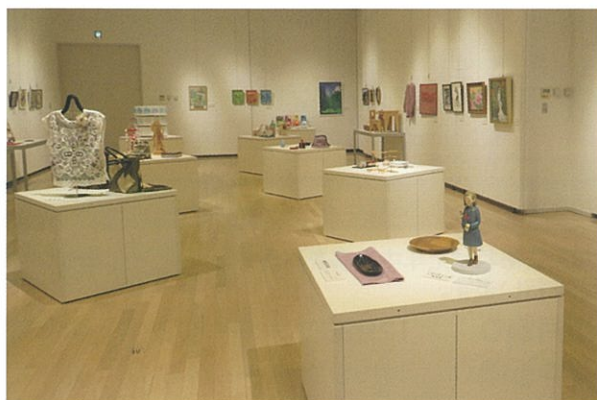


# 第11回 ねりま手工芸公募展

令和5年9月3日(日)～9日(土)、当館企画展示室において、第11回ねりま手工芸公募展が開催され、応募のあったさまざまなジャンルの作品の中から、68点が展示されました。各賞の受賞者を紹介します。



練馬区長賞 宮川 敦子 作 「静かな湖畔」



## 石神井公園ふるさと文化館館長賞

松本 詩織 作 「南天と福寿草」

## 練馬区手工芸作家連盟会長賞

猪股 護 作 「五大銘竹 竹華揃え」

## 練馬区伝統工芸会会長賞

祐川 加奈子 作  
「ドイツ童話の『くるみ割り人形』」

## 優秀賞

山下幸福 作 「キハダのリムプレート」  
小川 章子 作 「君は何色の鳥？」  
小泉 保男 作 「バランスとんぼ 竹とんぼ/かぶとむし」  
高橋 和江 作 「光へ」  
飯田 貴美子 作 「一糸で紡ぐ夏」  
野永 律子 作 「ザルに盛る野菜」

次回の手工芸公募展は、令和6年6月ごろに作品を募集し、9月ごろに展覧会を開催する予定です。是非ご出品ください。

主催 ねりま手工芸公募展実行委員会(練馬区手工芸作家連盟・練馬区伝統工芸会・公益財団法人練馬区文化振興協会・練馬区)

## 資料紹介 ベーゼンドルファーのピアノ

当館分室には、グランドピアノが1台あります。世界三大ピアノブランドのひとつといわれる、ベーゼンドルファー(オーストリアの首都ウィーン創業)のピアノです。芥川賞作家であり、オーディオ愛好家でもあった五味康祐が、愛娘に贈ったもので、当館で大切に保管しています。

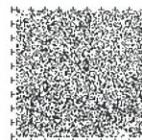
娘の由珠子の記述によると、康祐がウィーンに注文し、一年あまりかかって海を渡って届けられたそうです。由珠子はこのピアノについて「父から贈られたもののなかで、私にとってもっとも大切なものは、ベーゼンドルファーである。(中略)全くの手造りによる、このベーゼンドルファーの清澄な響きはじつに美しい。」(「父と音楽」『いい音いい音楽』五味康祐著 中央公論新社 平成22(2010)年)と述べています。

昭和36(1961)年製のピアノで、平成19(2007)年に練馬区に寄贈されました。当館分室が開室した平成26(2014)年当初は、高音が小さく、音が出にくいところがありましたが、毎年数回の調律を行い、今ではコンサートで素晴らしい音色を聴かせてくれるようになりました。

今年度は12月2日(土)と1月14日(日)に、区内大学によるコンサートがあります。康祐はかつて由珠子が弾いていたピアノの音について、澄んだ、いい音だ、と記しています。オーディオ愛好家であり音楽を愛した康祐がこだわったベーゼンドルファーの音色、ぜひ聴きにいらしてください。



ベーゼンドルファーのピアノ



# 催し物のご案内(1月～3月)

## 石神井公園ふるさと文化館展覧会

### 企画展「ナニコレ!? ねりまコレクション —収蔵品のなぞを解明しよう—」

1月20日(土)～3月17日(日)

※展覧会および開催イベントの詳細等につきましては、2ページをご覧ください。

## 季節展示

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

**正月飾り** 12月28日(木)～1月7日(日) 観覧無料

**まゆ玉飾り** 1月8日(月・祝)～14日(日) 観覧無料

**ひな飾り** 2月22日(木)～3月3日(日) 観覧無料

## ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

### 江戸の人々と土器

#### —発掘された暮らしの道具たち—

1月28日(日) 14時～15時30分

**講師** 両角まり(東京都埋蔵文化財センター 調査研究員)

**定員** 90名(抽選) **参加費** 無料

**会場** 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

**申込** 事前申込制

### 江戸の食事情 —食料生産と流通—

2月23日(金・祝) 14時～16時

**講師** 青木直己(駒沢大学講師)

**定員** 90名(抽選) **参加費** 無料

**会場** 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

**申込** 事前申込制

## その他イベント

### 絵本とあそび会

2月11日(日・祝) 14時～15時

**対象** 幼児～小学生と保護者 **定員** 50名

**読み手** 練馬区立南田中図書館司書

**参加費** 無料 **申込** 事前申込制

**会場** 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

### 石神井中学校演劇部による絵本とおはなしの会

3月9日(土) 14時～15時

**対象** 幼児～小学生と保護者 **定員** 90名(抽選)

**出演** 石神井中学校演劇部

**参加費** 無料 **申込** 事前申込制

**会場** 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

## 分室

### 五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

1月27日(土)、3月23日(土)

①13時30分～15時 ②15時30分～17時

**対象** 中学生以上 **定員** 各回20名(抽選)

**参加費** 各回300～500円(解説員により異なる)

**会場** 石神井松の風文化公園管理棟2階  
五味康祐オーディオ展示室

**申込** 事前申込制

### 区内大学との連携コンサート

#### 日本大学芸術学部卒業生によるサロンコンサート

1月14日(日) 14時～15時

**対象** 小学生以上 **定員** 100名(抽選)

**参加費** 無料 **申込** 事前申込制

**会場** 石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

## 利用のご案内 (令和5年12月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) 入館無料 ※特別展は有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

### 石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

### 分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

#### 西武バス 荻14

(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)

みどりバス 関町ルート(関町福祉園～武蔵関駅南口～

上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)

「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～

荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武バス 吉60(成増町～石神井公園駅北口

～上石神井駅～吉祥寺駅)

西武バス 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅

～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

「石神井郵便局」下車 徒歩1分



## 石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.49

令和5(2023)年12月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061

